

2024年度 第2回シーティングエンジニア アドバンスコース 開催要項

1. 目的

より深くシーティングエンジニア（以下SEという）としてのスキルや知識を習得し、業界全体の適合技術の底上げを図ることを目的とする。

2. テーマ 伝承と共有

日本に工房が誕生して約50年、SE養成講習会および認定試験を開催して14年になります。この間、さまざまな形で技術の伝承が試みられましたが、確たる教育機関もなく、日本の姿勢保持は個人の努力と同業事業所の協力による現場の経験値の積み重ねという形で発展してきました。

現在、講習という形で技術の伝承を試みており、SE講習は個別対応の姿勢保持具製作に技術的提案のできる人材育成を目的とし、認定者も増加してきました。しかし、現場の障害児・者の抱える問題の解決は、障害の程度や生活環境により、複雑で困難を極めることも少なくありません。

そこで今回、日本各地のSE有資格者で20～30年程度の経験者から、仕事上特に困難な事例で解決に至ったケースを発表し、受講者と共有する講習を企画しました。

症例演習のフォーマットをトレースし、各地域の他職種連携の様子や特色など、現場ならではの話をしていただく予定です。

3. 主催 一般社団法人日本車椅子シーティング協会

4. 開催日 2024年11月23日（土・祝）13:00～最大16:00（開場12:50）

5. 講習内容

25分（発表20分＋質疑5分）×5事例

No.	内容（予定）	発表者
事例1	脳性まひ児の座位保持装置	田中 章宏（有限会社であい工房）
事例2	将来の自立を見据えて、トイレの自立と電動車椅子操作を想定した姿勢保持具の支給とチームアプローチ	山崎 雅幸（株式会社シーズ）
事例3	先天性ミオパチーの児童に対する電動車椅子の作製	工藤 賢一（川村義肢株式会社）
事例4	姿勢保持具、立位保持の考え方と製作	西方 倫彰・中山 康仁（株式会社きさく工房）
事例5	医療的ケア児から医療的ケア者へ、継続的な対応の例	沖 ちなみ（有限会社となりの工房）

6. 会場 ZOOMミーティングルーム (Web開催)

7. 定員 50人

先着順となります。

申込締切日前でも定員になりしだい受付締切となります。

8. 受講条件

(1) シーティングエンジニア資格取得者

(2) Web講習になるため、パソコンやタブレット等で受講ができ、かつ安定したインターネット環境が整っていること。

9. 受講料 無料

10. 申込方法

①申込みフォーム (URL : <https://forms.gle/PW4Bwf6HhCPWrwrW9> またはQRコード) より、必要事項を入力して、申込みをしてください。

申込みフォームQRコード



②申込締切日

2024年11月7日(木) 17:00まで

③後日、当日の参加方法 (ZOOMのURL等) をお知らせします。

【注意事項】 事例発表内容の録音、録画、撮影を固く禁止します。

お問合せ先

一般社団法人 日本車椅子シーティング協会 事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-15 浜松町三電舎ビル2F

TEL : 03-6435-0365 FAX : 03-6435-0366 E-mail : info@j-aws.jp